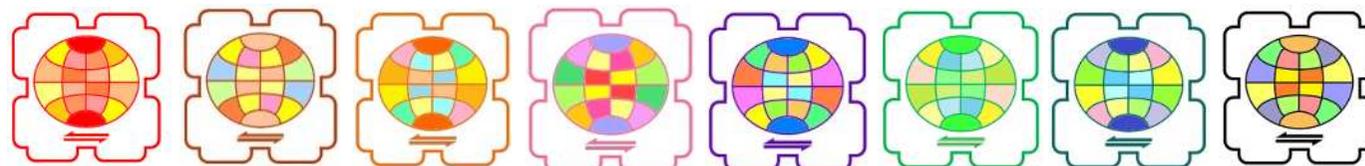


令和5年度第3回岐阜市多文化共生推進会議

令和6年2月16日



**次期岐阜市多文化共生推進基本計画策定
のためのアンケート調査について**



次期岐阜市多文化共生推進基本計画の策定

■次期計画の策定について

現在の多文化共生推進基本計画の計画期間は令和2年度～令和6年度までの5年間であるため、令和7年度以降を計画期間とした新たな計画の策定を予定

■次期計画の考え方

現行計画と基本理念や方向性など基本的な考え方は共有しながら、現状を踏まえた計画として、新たに策定する予定

■策定に向けたスケジュール

令和5年度

- ・外国人市民に対するアンケート調査
- ・日本人市民に対するアンケート調査

令和6年度

- ・素案作成
- ・岐阜市多文化共生推進会議からの意見聴取
- ・パブリックコメント手続きによる意見聴取



アンケート調査の概要①

外国人市民に対するアンケート調査

【調査方法】

住民基本台帳のデータを使用し、調査表、返信用封筒及び記念品を郵送。

【調査対象】

- ・調査時点で18歳以上の人
 - ・岐阜市に来て、1年以上住んでいる人
 - ・在留資格が「特別永住者」でない人
- 以上をすべて満たしている人の中から無作為で、1,500人を選出

【調査期間】

2023年10月25日～11月30日



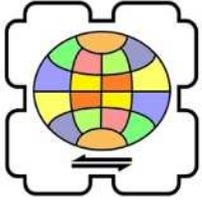
【回収状況】

対象者1,500人中、370人から回答 → 回収率 24.9%

【調査結果】

別添「外国人市民へのアンケート調査報告書」(資料3)

詳細は資料3にて説明



アンケート調査の概要②

日本人市民に対するアンケート調査

【調査方法】

インターネットを利用して、市政に関するアンケート調査等の回答を行う岐阜市市政モニターを対象として、調査を実施。

【調査対象】

- ・岐阜市に住む18歳以上の日本人市民
- ・あらかじめ市政モニターとして登録している200人

【調査期間】

2023年10月13日～10月27日



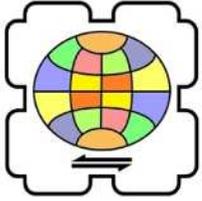
【回収状況】

対象者200人中、171人から回答 → 回収率 85.5%

【調査結果】

別添「令和5年度第4回「ぎふCITYウォッチャーズ」調査結果」(資料4)

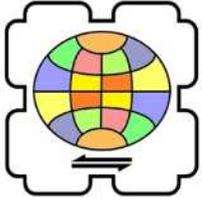
詳細は資料4にて説明



調査結果の分析①

「日本語」について

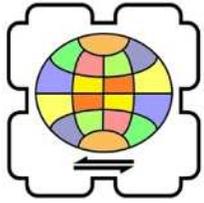
- ・外国人の日本語能力については、「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」の中では、「読む」能力に課題がある状況が伺える。(外国人調査 Q9～Q13)
- ・市役所から、母語以外でお知らせをもらう言語は、どの言語がいいか？という問いに対し、日本語と「やさしい日本語」で3分の2を占めている状況である(外国人調査 Q34)一方、市役所等の手続きで、職員の話すスピードが早いと感じる人や難しい日本語(「やさしい日本語」ではない)で対応させて困った人が多くいた(外国人調査 Q23)。
- ・また、日本人市民に「やさしい日本語」を知っているか、また使っているかを尋ねたところ、「知らないし、使っていない」という回答が67%を占めた(日本人調査 質問7)。



調査結果の分析②

多文化共生の推進のためにできることについて

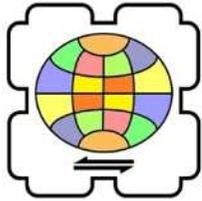
- ・多文化共生の推進のためにできることを外国人と日本人にそれぞれ尋ねたところ、「日本文化や習慣を理解し、マナーを守る」について、外国人への調査では229件(回答数第2位)、日本人への調査では138件(回答数第1位)と多くの回答があった。(外国人調査 Q36 及び 日本人調査 質問8)
- ・また、日本人の多くが「外国人が、日本の習慣や決まりを理解していない」ことが日本人市民と外国人市民のトラブルの原因であると考えている(回答数120件で第1位)。(日本人調査 質問4)
- ・外国人向けの調査においては、外国人ができることは何かという問い、日本人にできることは何かという問いともに、「日本人と交流する」(回答数210件で第3位)、「外国人と交流する」(回答数173件で第3位)に多くの回答があった。(外国人調査 Q36、Q37)
- ・その一方で、実際の交流や会話については、外国人、日本人共に「挨拶程度」である。(外国人調査 Q26 並びに 日本人調査 質問3及び3-1)



調査結果の分析③

その他①

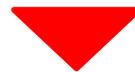
- ・多文化共生の推進のため、日本人にできることを、外国人に尋ねたところ、「外国人を差別しない」が235件で回答数第1位となり(外国人調査 Q37)、日本人への調査でも116件(回答数第1位)となった(日本人調査 質問9)にも関わらず、外国人に現在の悩みや将来の不安を尋ねたところ、「日本人の外国人に対する偏見、差別に関すること」に79件の回答が寄せられ、以前に行った調査に対し、増加している。(外国人調査 Q32)
- ・外国人に「災害に備えて、どのような準備をしているか」を尋ねたところ、「特に決めたり、準備しているものはない」が141件で、全体の2位となり、「岐阜市災害時多言語支援センター」を知っている人の割合も15%にとどまった。(外国人調査 Q30、Q31)
- ・自治会への加入していると回答した外国人は18.9%で、岐阜市全体の加入率(55.4%:令和5年4月1日現在)より低く、以前の調査結果(入っているが26.3%)に比べても低下している。(外国人調査 Q24)



調査結果の分析④

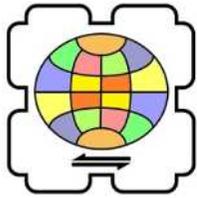
その他②

- ・日本人に「岐阜市に外国人が新しく移り住み、外国人市民が増えること」についてどう思うか尋ねたところ、「岐阜市の労働力が増え、経済的な発展が期待できる。」(回答数80件)、「国際交流が進む」(回答数76件)、「日本人市民が外国の言葉や文化に触れることができる」(回答数76件)など、前向きな意見が上位3位を占めたが、次いで多かった回答は「治安が悪化する」(回答数67件)であった。(日本人調査 質問5)
- ・外国人に岐阜市に暮らしていて、満足しているかを尋ねたところ、89.8%が「満足している」と回答した一方、国内の他都市への転出を希望するものも一定数存在する。(外国人調査 Q38、Q7、Q8)



引き続き、調査及び分析を行い、次期基本計画策定に向けて、課題を明確化していく。

次期基本計画の策定について～今後の予定～



次期基本計画の策定について～今後の予定～

■策定に向けたスケジュール

令和5年度

- ・外国人市民に対するアンケート調査(実施済み)
- ・日本人市民に対するアンケート調査(実施済み)
- 引き続き、分析を進める。

・「岐阜市に来て0か月～1年の外国人の WEBアンケート」

- ・公益財団法人岐阜市国際交流協会への委託事業としてアンケート調査を実施
- ・日本語ボランティア教室、日本語学校、大学、専門学校、介護施設等に依頼して、調査票を配布し、Webアンケートを実施。**現在、回答を集計・分析中**



必要に応じて、ヒアリング等を行い、課題・方向性を明確に

令和6年度

- ・素案作成
- ・岐阜市多文化共生推進会議からの意見聴取
- ・パブリックコメント手続きによる意見聴取